



新学期に向け、自転車通行空間を整備



せいしん

静岡バイパスの自転車利用の安全性が向上します

◆お知らせ

静岡国道事務所では、平成26年度より国道1号^{せいしん}静岡バイパス(静岡市清水区^{やさかきた}八坂北から葵区^{おおいわ}大岩まで 延長9.6km)の街路部において、ワークショップ※1を活用し、自転車通行空間の整備を進めてきました。当該区間は、周辺に多数の学校が立地しており、自転車利用の多い区間であるとともに、事故も多発しております。

この度、新学期に向け、自転車通学路をはじめとする一部区間について、自転車通行空間の整備が完了し、利用可能となりましたので、お知らせいたします。

利用開始時期：平成28年3月18日（金）～

利用可能区間：清水区^{とりさか}鳥坂交差点～葵区^{ちよだあげち}千代田上土IC交差点

<延長約2.4km>

引き続き、残る区間につきましても早期完成に向け、整備を進めております。

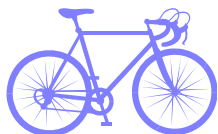
(※1) 今回の整備にあたっては「1号静岡バイパス自転車安全利用ワークショップ」を開催し、バイパス街路部を自転車で利用されている地域の方や沿道の高校、また関係機関の方々に参加を頂き、ご意見を伺いました。
最終的に、試験走行を通じて交通安全上の課題点を共有し、整備方針を決定しております。

◆資 料 別 紙 (整備方針、整備区間、自転車の走行状況)

◆配 布 先 静岡県政記者クラブ、静岡市政記者クラブ

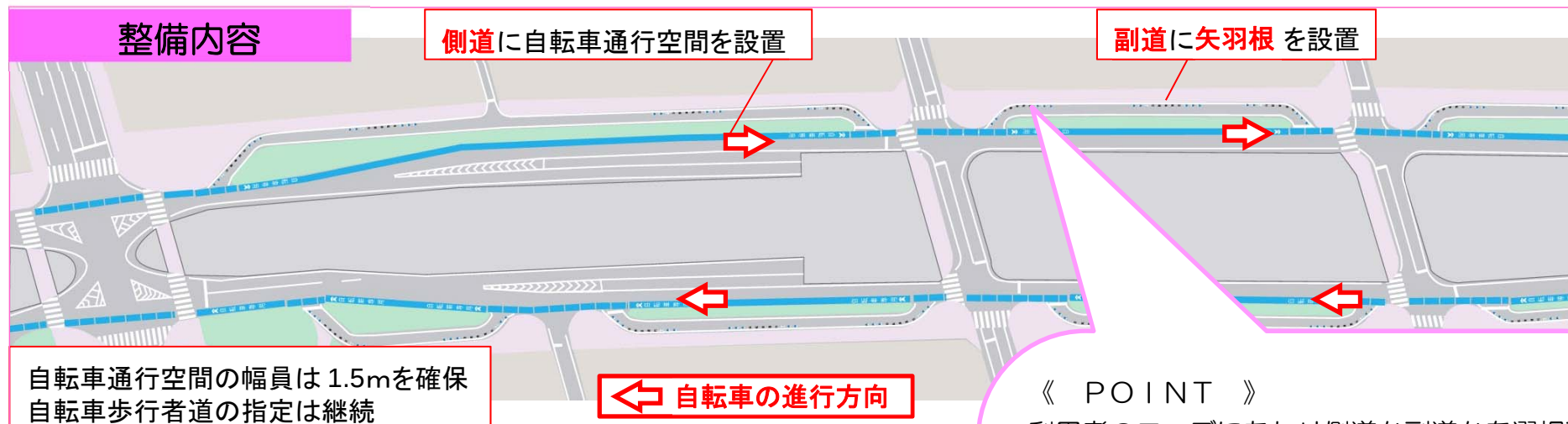
◆問合せ先 国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

副所長 油井 康夫 電話(054)250-8900 FAX(054)252-5747
管理第二課長 諸田 勇 電話(054)250-8907 FAX(054)250-8911



静岡バイパス街路部に自転車通行空間が誕生します！

■標準部の整備方針



■規模の大きな交差点の整備方針 (左折専用レーンがある場合)

《 POINT 》
左折専用レーンがある
交差点は、左折車両と自
転車の接触事故の防止
対策として、自転車と車
両を分離。



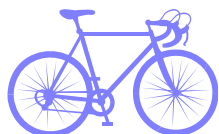
《 POINT 》
利用者のニーズにあわせ側道か副道かを選択可能

- のんびり走れて車も少ない副道を通ろう。
- スムーズに走行できる側道を通ろう。

副道入口付近

副道への誘導





静清バイパス街路部に自転車通行空間が誕生します！

■平成 26 年度整備区間における自転車の走行状況

《 整備前 》



自動車交通量が多く、自転車は主に歩道（自転車歩行者道）を走行している状況であるが、通学時間帯においては、**特に歩行者及び自転車のすれ違いが危険な状況。**

参考：静清バイパス街路部

自転車通行量 879 台/日 （H17 センサス）

《 整備後 》



自転車通行帯を整備することで、自転車及び歩行者の安全な通行空間を確保。また、自転車通行帯を着色することで、**車両と自転車の接触事故も抑制。**